



## 恵みに感謝 米作り体験

6月から9月にかけて、立花小学校5年生が阿部鹿俊さん(三代)の田んぼで米作りを体験しました。阿部さんは地域のみなさんとともに、16年にわたってこの活動を続けています。6月に田んぼならではのぬかるみに苦戦しながら植えた苗は、2度の台風を乗り越え、たくさんのお米をつけました。

稲刈りでは初めて扱う鎌に苦戦した様子でした。今となっては珍しくなった掛け稲まで行い、ようやく迎えた9月下旬の脱穀。一連の作業を体験した子どもたちは「稲刈りが一番大変だった」「カエルがいて楽しかった」などと感想を述べていました。

脱穀の日には子どもたちから歌のプレゼントもあり、青空の下、明るい歌声が響き渡りました。脱穀後にお米でポン菓子を作り、農家ならではのおいしさを体験した子どもたち。米作り体験だけでなく、心温まる交流の場ともなりました。



▲そ〜っと脱穀機に通していきます



▲子どもたちからの質問に答える阿部さん



▲準備から片付けまで率先して実施

## 東中を彩る 竹灯籠

新宮東中学校で「ふれあいの丘東風週間・ひがし竹灯籠」と題して、夜の校舎を竹灯籠で彩る取り組みが行われました。

新型コロナウイルス感染症の影響で行事などが制限されるなか「できることはないか」と生徒・教職員が一体となって発案し、立花口区で竹林整備などを行う Tachibana All Powers (TAP) の協力を受けて実現しました。

生徒たちは竹灯籠に将来の目標や願いなどを書いて灯しました。会場を訪れた保護者や生徒たちは「きれいだね」「やってよかったね」などと話していました。



竹灯籠で文字などを表現 ▶  
(新宮東中学校上空から撮影)

9月15日に相島小学校・新宮中学校相島分校合同で避難訓練が行われました。子どもたちは訓練がはじまるとすぐに動きだし、事前に設定した目標タイムを大幅に上回る速さで小学校グラウンドに避難することができました。

避難訓練に併せて分校生徒で組織する相島少年消防クラブ(相島BFC)による軽可搬ポンプ操法が披露されました。機敏な動きや的確な放水を見た小学生は「島を守る中学生かっこいい」「中学生になったらあんな風になりたい」と感想を述べていました。

最後は消火器を実際に使い「ピノキオ(ピンを抜く・ノズルを火元へ向ける・距離をとる・押す)」を合言葉に初期消火の重要性を学びました。

日ごろから相島BFC活動などをはじめ、防災意識が高い子どもたちですが、訓練をとおしてより一層防災意識が高まったようでした。

## 火災から身を守るために



▲火元に向けて消火



井上澄江さん  
(原上)



坂口ナミ子さん  
(原上)



半田エミ子さん  
(上府)



森久江さん  
(上府)



吉開トリエさん  
(緑ヶ浜)



井浦キクユさん  
(夜白1)



白石オサヨさん  
(湊坂)



石橋ミツヨさん  
(相島)

倉智恵美さん(立花口)  
角野シヅエさん(上府)  
氷室マサコさん(下府1)  
三船タツコさん(相島)

※写真は希望者のみ掲載しています。

## 祝 100歳

本年度、町内では12人が100歳を迎えます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、敬老大会は中止となりましたが、9月30日にそびあしんぐう大ホールで、国・県・町からのお祝状と記念品の贈呈式を行いました。贈呈式に出席した5人に、長崎町長からお祝い状と記念品を贈呈しました。

100歳を迎えるみなさん、おめでとうございます。これからも元気にお過ごしください。

